

## 第3回 Oici 薬薬連携セミナー ～これだけは押さえておこう～

### 胃がん治療、免疫チェックポイント阻害薬、皮膚障害に対する当センターの取り組み

開催日時： 令和4年9月14日(水) 19:00～20:00

開催形式： **Web 開催** TEL:06-6945-1181

事前申し込み： <<締切：9月9日(金) 17:00>>

参加を希望される先生は、[下記の事前申し込みフォーム](#)を入力してください。

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeaAAiJWfv2R6bq6a\\_Se7E4UTkosIgFpfwTGIDB0\\_bchfCfxQ/viewform?usp=sf\\_link](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeaAAiJWfv2R6bq6a_Se7E4UTkosIgFpfwTGIDB0_bchfCfxQ/viewform?usp=sf_link)

参加証明書の発行： [事前申し込み](#)と、[開催後のアンケート\(9月15日頃\)](#)のメール返信によって  
ご出席を確認したうえで、参加証明書のPDFデータを参加者に送信します。

参加費： 無料

#### 内容：

連携充実加算算定にあたっては、保険薬局薬剤師と病院薬剤師との連携を密にし、抗がん剤レジメンや副作用モニタリングの内容を共有することや、トレーシングレポートを有効活用することが重要です。

そこで、今回は、胃がん治療に用いるレジメンと抗がん薬による有害事象の理解、免疫チェックポイントの有害事象(irAE)対策、抗がん薬による皮膚障害対策をテーマとし、主に副作用管理と薬薬連携の運用について情報の共有を目的としたセミナーを企画しました。

胃がん治療を受ける患者数は依然多く、様々なレジメン・抗がん薬での有害事象の理解を深めることが重要です。また、免疫チェックポイント阻害薬は非常に多くのがん治療に適用される昨今、重篤な有害事象発見における保険薬局薬剤師の先生方が果たす役割は大きくなっています。そして、抗がん薬全般に起こりうる皮膚障害対策に対しての適切な支持療法の提案は薬剤師の職能が活かされる分野です。

今回のセミナーでは、より実践的な内容について情報共有をし、今後の業務に活かせるように、有意義な時間を作っていきます。

講演①: 19:05～19:25(質疑応答込み:20分)

演題名:「胃がん抗がん薬の副作用対策(仮)」

講師: 大阪国際がんセンター 薬局 主査 鎌田 宏和

講演②: 19:25～19:40(質疑応答込み:15分)

演題名:「当センターにおける irAE の対処(仮)」

講師: 大阪国際がんセンター 薬局 野口 大倭

講演③: 19:40～20:00(質疑応答込み:20分)

演題名:「抗がん薬による皮膚障害対策について(仮)」

講師: 大阪国際がんセンター 薬局 主査 高橋 幸三